

めざす子ども像

## 幼少中・地域の確かなつながりの中で 自ら考え、未来を切り拓く子ども

取組目標

協議会と学校の連絡を密にし、地域に発信していく取組をしながら、  
地域の方々と子どもたちが一緒に参画できる場の提供と企画をする。

### 【今年度の取組紹介】

今年度も新型コロナウイルス感染症対策の影響で学校と地域がかかわる活動が制限されたなか、「学力支援」は可能な限り地域の方々に指導をお願いし開催できました。

「国語」「数学」「英語」と曜日を変えての支援でしたので開催数も少なく生徒たちもまちまちでしたが、子ども達はコロナ対策をとりながら、地域の方と会話をしながら学習に励んでいました。なかには、教科指導学習以外の事を聞きに来る生徒もいて、徐々に地域の方と話すことを恥ずかしがらなくなりました。

また、英会話(イングリッシュカフェ)は、カードを使っでの会話でしたので、生徒たちは楽しんで会話をしていました。



### 【今年度のまとめ】

コロナ禍といえども生徒たちの顔が見えるようになってきたことは、今年度というより、毎年同じことを続けていたことによるものだと感じます。

ただ、地域をあげての活動が出来なかったことや、学校に行く回数が少なかったことで、生徒の顔が見えなくなったことは残念でしたが、小学校への環境整備や、見守り活動で知り合った児童が、地域のみならず中学校に入ってからも声をかけてくれることは、地域の皆さんの励ましになっているようです。

### 【来年度に向けて】

校区地域をあげての活動を出来るよう工夫することが大切と思っております。今までのフェスタにこだわらず、少人数でもできる、学校を使わない活動も考えて、生徒と共に企画・立案を考えていきたいと思っております。

めざす子ども像

**幼少中・地域の確かなつながりの中で****自ら考え、未来を切り拓く子ども**

取組目標

**地域を愛し、地域に誇りを持ち、自ら学び、考え、判断し手応えのある夢を持ち、たくましく生きるこどもの育成****【今年度の取組紹介】**

生徒自ら考え取り組む事業の一つとして生徒会が中心となり「花いっぱい笑顔いっぱい登美中へプロジェクトチューリップ」を実施しました。全校生徒への呼びかけにより校内ボランティアとしてたくさんの生徒が集まり地域の方々に教わりながら、花いっぱいになる春の花壇をイメージしチューリップの球根を一つ一つ丁寧に植えました。入学式で校門をくぐり、色とりどりの花や笑顔に迎えられて登校した景色を後輩たちに見せてあげたいと優しく土をかぶせる姿がありました。地域の方々の温かいまなざしにつつまれ、子ども達の心に思いやりの花が咲く温かい事業です。また、学力向上プロジェクトとして、地域の方々を講師として招き、子どもたちのニーズに応じた学習指導に取り組みました。国語、数学、英語の3教科で学力の定着と子ども達の学びにむかう姿勢を育む機会となりました。



わかった！できた！の達成感や学ぶ楽しさを経験し、自ら学び、考え、判断し、夢を見つけたたくましく生きる力を身につけていく一つの機会となっています。

**【今年度のまとめ】**

毎月の広報紙の発行や校内放送での子ども達から全校生徒への呼びかけや報告、また学校ホームページへの掲載を通して、地域教育協議会の協力のもと行われている事業や取組の啓発を行いました。令和3年度学校評価アンケートにおいて、地域教育協議会の取組項目は、全校生徒の77%、保護者様85.7%（3年生保護者様100%）の認知度ができています。新型コロナウイルス感染状況を鑑みて、計画通りにすべての事業を実施することができませんでしたが、制限ある中で最大限のご理解とご協力のもと、今年度も子ども達の教育活動の充実をはかることができました。自分のため、また人のために頑張ること、夢中になること、そこでできたつながりに子ども達のたくさんの笑顔がうまれたことが大きな成果であり、ご支援いただけることに感謝申し上げます。

**【来年度に向けて】**

子ども達の学習環境や体験活動の充実を図る事業計画を行い、地域の方々のご支援をいただきながらキャリア教育を視点とした取組や子ども達主体の取組を推進していきます。

めざす子ども像

**幼小中・地域の確かなつながりの中で****自ら考え、未来を切り拓く子ども**

取組目標

**地域で子どもをはぐくみ、子どもで地域がつながる****～自ら学び、考え、行動するやさしくたくましい子どもの育成～****【今年度の取組紹介】**

今年度も「地域で子どもをはぐくみ、子どもで地域がつながる」取組を継続しました。

1学期から、子ども達が、地域の方と共に植物を栽培・収穫する活動に取り組み、収穫した植物を活かして様々な作品・製品を作ることが出来ました。

1年生は、収穫したカモミールで、カモミール染めハンカチを作りました。

5年生は、校区の秋篠川でカラムシを採集し、奈良女子大学の先生にも指導して頂きながら、その繊維を取り出しました。

家庭科の調理実習やミシンを使う授業にも、地域の方々がお手伝いに来てくださり、子どもたち一人一人に寄り添って丁寧に手助けしていただきました。

特別支援学級での生活単元学習として、ろうけつ染めなど、さまざまな染物やステンシルを体験することができました。

また、今年度も、防災教育の一環として地域の方に講演・ご指導いただき、地域の方と触れ合い、つながりながら「守られる側から守る側への気づき」を体感し「今、自分たちが安心して毎日の生活を安全に送ることが出来ていること」に感謝することが出来ました。

地域の方々と、子ども達が共に活動することで、「子ども達が地域の中でしっかりと生活し、地域とのつながりを深める」という目標に近づいているという実感をさらに強く感じる事が出来た一年となりました。

**【今年度のまとめ】**

コロナ禍ではありましたが、感染対策にも留意しながら、ボランティアの方々の熱心な関わりと子ども達への温かい心配りがあり、子ども達は、それらによって、ますます成長し、ふるさと鶴舞を思う気持ちが強くなっています。学校・家庭・地域が、お互いの役割や機能を十分理解し、連携・協働することで、これからも「確かなつながりの中で自ら考え未来を切り拓く子ども」の育成をめざしていきたいと考えています。

**【来年度に向けて】**

これまでの活動の蓄積を財産としながら、地域の方々と共に協働して活動を継続することで、「地域で子どもをはぐくみ子どもで地域がつながる」鶴舞を創りあげていきたいと考えています。共に歩んでくださっている保護者・地域・関係団体の皆様に、深く感謝しております。今後共、鶴舞の子どもたちへのご支援ご協力、宜しく願いいたします。

めざす子ども像

**幼小中・地域の確かなつながりの中で****自ら考え、未来を切り拓く子ども**

取組目標

**児童が学び、考え、行動する****やさしくたくましい子どもの育成****【今年度の取組紹介】**

今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、多くの活動を自粛せざるを得ませんでした。その中でも感染者が比較的少ない時期に地域の方と児童と共に環境整備事業として、校舎内にある雑草の刈り込み等を行うことができました。

1年生の「命の学習」は、講師の先生（医師）たちと連絡を密に取り合いながら、授業を行いました。例年体育館で行っていましたが、密にならない事を考えて各教室に分散して行うことにしました。

また、同じく1年生は地域の方に来ていただいて、昔遊びを教えていただく機会をもつことができました。コマ回しやあやとりなど、初めての子も多く、なかなかうまくいかないこともありましたが、地域の方と楽しそうに遊ぶ子どもの姿がたくさん見られました。

**【今年度のまとめ】**

今年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に左右されながらの活動となりました。できるだけ子どもたちと地域の方との交流ができるように、感染状況の比較的落ち着いた時期に実施しました。子どもたちは、地域の方との触れ合いに楽しそうに取り組んでいました。特に1年生は初めての小学校生活なので、学校生活が地域の方に支えられていることを知ることができました。

**【来年度に向けて】**

来年度も引き続きコロナ禍での活動が想定されますので、感染状況を見ながら、できるだけの活動を取り入れていきたいと思っております。

めざす子ども像

**幼少中・地域のつながりの中で自ら考え、****未来を切り拓く子ども**

取組目標

**子どもたちの興味・関心に基づいた直接的・具体的な体験活動の実施  
子どもが主体的に活動できる環境構成**

## 【今年度の取組紹介】

## 【地域とのつながり】

ゲストティーチャーを招いて、野菜やお花の栽培を体験することができました。昨年引き続きコロナ禍の中、地域の方の協力を得て、園で玉ねぎや花の苗のお店屋さんごっこを体験しました。おすすめのお花を説明し、お客さんを案内して品物を選んでもらえて、自信をつけることができました。

## 【染色に挑戦】

ゲストティーチャーの指導をいただき、自分たちで蒔いて育てたカモミールを収穫し、染色に挑戦をしました。きれいなクリーム色にみんな大喜びでした。また作品展の飾りつけでおおきな横断幕となる素材も染色しました。看板的な作品の製作に子どもたち一人ひとりが自信に満ちた様子が見えられました。



## 【今年度のまとめ】

取組紹介のほかにも、地域の方々の支援を受け、子どもたちが初めて挑戦した栽培活動や染色活動を経験することにより、自然の物に興味を持ち、探求する心が育ってきました。またサッカーや英語で遊ぼう、わらべうた、また木工製作を体験させていただきました。これまで積み上げてきた取組をさらに充実させたことにより、子どもたちの興味・関心が引き出され、自ら学ぼうとする意欲や心情、態度がさらに育ってきました。

## 【来年度に向けて】

コロナ禍の中で昨年に引き続き幼小の連携ができなかったため、地域の方のご協力を得て、幼小連携の取組の強化とともに、地域の方々と交流していきます。また、広い園庭で体力づくりにも取り組み、園庭での遊びの中で、子どもたちが自ら学び、考え、行動するやさしくたくましい子どもの育成を目指します。